

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表:令和2年 3月 6日

事業所名 キンダーハイム地域支援事業

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・備え付けの棚に片付け、それ以外の棚は一つにし広いスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・玄関から部屋まで、段差のない作りになっている。また、決まった位置での活動にし、テープ等の視覚支援でわかりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・活動にあわせて部屋を使用できるよう、広いスペースを設けている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・次の療育に生かせるよう、ケースごとの振り返りを療育後に全職員で行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・前年度の満足度調査を受けて、保護者同士の話しができるよう、療育中のスケジュールを工夫した。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・現在は第三者による外部評価は行っていません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・保護者対応、子どもの発達の流れ、事例報告等、月1回程度研修を行っている。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・懇談時の聞き取り、療育中の保護者とのやりとり、また保護者にはチェック表の記入もお願ひし、それらを職員間で共有し、支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・ケースによってこども相談センターや医療機関の発達検査、医師の意見書等を使用。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインを全員に配布し読んでいる。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援計画をもとに遊びや関わり方などの検討し支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・お子さんの様子や課題を踏まえ、全員で会議をしている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・日替わりで遊びを提供している。しかしお子さんの成長を確認するために半年程度間を空けて同じ遊びをいれることもある。	・お子さんの課題に合った様々な遊びを今後も提供できるよう努めます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		・個々の課題から、個別と集団での活動を取り組んでいる。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	○		・お子さんの様子を予想し、役割について打ち合わせをしている。	
	18	○		・予想と実際の姿の振り返りと情報共有を行っている。	
	19	○		・お子さんの様子を日記録に、保護者からうかがった話を保護者欄に記入し、それらをもとに振り返りながら支援を行っている。	
	20	○		・6か月を目安にモニタリング、見直しをしているが、お子さんの状況によっては6か月未満でのモニタリングを行うこともある。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	○		・児発管が参画している。	
	22	○		・保健福祉センターや家児相との連携。	
	23				・医療的ケアが必要なお子さんは現在ご利用ではありません。
	24				・医療的ケアが必要なお子さんは現在ご利用ではありません。
	25	○		・保護者の要望に合わせて、必要に応じて行っている。	
	26	○		・保護者の要望に合わせて、必要に応じて行っている。 ・スムーズな就学に向けて、サポートブック作成方法を保護者に説明。	
	27	○		・ケースの状況に合わせて連携し、助言を受けている。また研修の講師としても参加してもらうことがある。	
	28		○	・保育所や幼稚園等との交流は予定していませんが、幅広い年齢のきょうだい児さんにご参加いただいている。一緒に遊んだり学年によってはお手伝いをお願いしたりし、様々な場面で交流している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	○		・平野区子育て連絡会には児発管が参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・自由遊びの時間や帰る準備の時間を用いて話をしている。 ・必要に応じて、残っていただき懇談を行っている。	・自由遊びの時間では時間が足りない場合、別の日の懇談やお電話でもおうちがいでできることを再度お声かけをします。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・就学の流れ、サポートブックについて、遊びの意味、こだわり等グループの状況に合わせて学習会を行っている。	・(学習会以外の支援として)設定遊び後時間がある時に、保護者の方同士でのお話の様子も見ながら、感想会を実施します。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・モニタリングの時にご家庭での様子をなどを伺い、必要に応じて対応方法等について保護者の方とともに検討したり、助言したりしている。	・モニタリングの時期を目安に個別に懇談を行っていますが、それ以外の時でもご相談いただけるよう必要に応じて、お声かけします。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者のみの学習会や感想会を実施している。	・保護者同士で連携していただけるよう自由遊びの時間の活用を、新グループが始まった時に再度お声かけします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者の方からご相談があった場合は、職員全員で共有し対応について検討。なるべく早くお答えできるように努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・プログラムは定期的に発行。ホームページは随時更新。	・ホームページを更新時、保護者の方に連絡します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・必要に応じてお伝えすることを書いてお渡ししています。	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・現在はグループごとのイベントを行っています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・職員はマニュアルを読み、全員で避難の仕方について話し合っています。	・マニュアルはお部屋の棚にあることを保護者の方にお伝えします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・たくさんのご家庭にご参加いただけるよう、避難訓練を8日(14回)に分けて実施。またプログラムで実施日を予告しました。	・次年度も避難訓練の予告をプログラムにて行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に服薬等について聞き取りをし、職員全員で把握。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時に聞き取りをし、医師の指示に基づいてクッキングを実施。	・現在は医師の指示書の提出はしていただいていませんが、必要に合わせ提出をお願いすることもあります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・気づいたことがあった時にはその都度職員全員で確認し、対応を検討している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・毎年研修を実施。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○				

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。